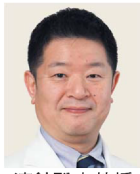


眼瞼下垂症と生活習慣病



((19))



漆館聡志教授

自覚のない患者多く

意外と身近な病気「眼瞼下垂症」ってなに? まぶたが上げにくくなる病気、「眼瞼下垂症」を皆さんは知っていますか? 一般的に

が上がりにくくなり、視野が狭くなってしまふ疾患のことです。視野が狭くなることにより、眉毛やまぶたを上げて物を見るようになります。頭痛や肩こりなどの症状があらわれることもあります。普段の生活が不便になりそうな病気です。ね。

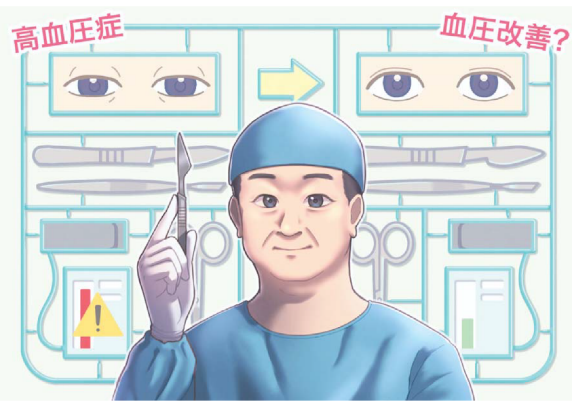
多くの原因で発症するかにしては諸説あり、目をよくするなどの物理的な刺激がその一つとされていますが、その詳しい原因や効果的な予防法はまだ分かっていません。では、この眼瞼下垂症をどのように防いでいけばよいのでしょうか?

「眼瞼下垂症」が生活の質に与える影響とは? 岩木地区のデーターを用いた研究形成外科科学を研究す

探究心旺盛な小中高生の皆さんに向けて、弘前大学の先生たちのユニークな研究を紹介するこの連載。今回は、「眼瞼下垂症」についての研究から原因でまぶた

は高齢者に多い病気なのですが、生まれつき眼瞼下垂症であったり、若いうちに発症したりすることもある身近な病気なのです。眼瞼下垂症とは、何らかの原因でまぶた

また、高齢、男性、高血圧症、高脂血症を患う人は、眼瞼下垂症の割合が高いことも調査から明らかになりました。これらのことから、眼瞼下垂症と生活習慣病には関連があることが分かりました。眼瞼下垂症が生活習慣病に影響を与えているのか、生活習慣病が眼瞼下垂症の発症原因となっているのかは、いまだ説明されて



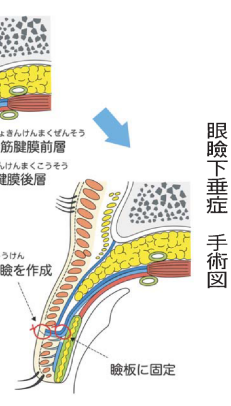
イラスト・弘前大学教育学部 ひつじ玲汰

てくれるのかもしれない。最後に、漆館先生からのメッセージ。形成外科科学は失われた組織や機能を再建する、いわば「創造する外科」ですが、組織を再建するだけではありません。最終的には患者さんに笑顔で社会復帰してもらうことを目標としており、「患者さんの未来を創造する外科」でなければならぬと思っています。形成外科科学に興味を持った学生さんは、是非私達と一緒に研究と診療をしましょう。お待ちしております。第19回の先生

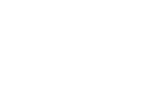
漆館聡志教授
【医学部/形成外科科学】

講座) ■研究のなしてを(仮)「のなして?」をお伝えします。お楽しみに。

ひろだい探偵団では、引き続き本学の先生たちの面白い研究をご紹介します。また、これまでの記事のバックナンバーも是非ご覧ください。左の二次元コードからどうぞ。次回掲載は4月下旬、「二酸化炭素を還元し



眼瞼下垂症 手術図



※この画像は、当該ページに限りて陸奥新報の記事利用を許諾したものです。転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。 令和5年3月20日 陸奥新報掲載